

令和元年農業産出額（広島県）について

〔令和3年4月19日〕
農林水産総務課

1 要旨

令和3年3月12日に農林水産省が公表した令和元年農業産出額（都道府県別）における広島県の概要を報告する。

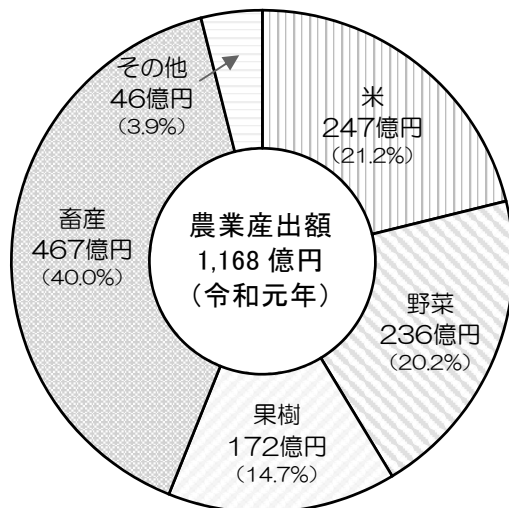
2 広島県の農業産出額の概要

広島県の令和元年農業産出額は1,168億円となり、前年（1,187億円）と比較して19億円の減少となった。

分野別では、米は247億円となり、前年（263億円）と比較して16億円の減少、野菜は236億円となり、前年（234億円）と比較して2億円の増加、果実は172億円となり、前年（165億円）と比較して7億円の増加となった。また、畜産は467億円で前年（474億円）と比較して7億円の減少となった。

主な減少要因について、米は作付面積の減少及び作況の悪化による生産量の低下、鶏卵は生産量の増加による価格の低下が影響したものと考えられる。

【農業産出額内訳】



【品目別産出額上位10品目】

順位	品目	産出額 (億円)	(参考)平成30年
1位	米	247	263億円 (1位)
2位	鶏卵	215	231億円 (2位)
3位	豚	89	85億円 (3位)
4位	肉用牛	71	68億円 (4位)
5位	生乳	54	54億円 (6位)
6位	みかん	51	55億円 (5位)
7位	トマト	36	29億円 (9位)
8位	ねぎ	36	38億円 (7位)
9位	ぶどう	30	31億円 (8位)
10位	ほうれんそう	20	20億円 (10位)

(億円)

【(参考) 農業産出額の推移】

